

平成 24 年 6 月 15 日

## GS1 データバー対応の低価格バーコードリーダーを 7 月から販売開始。 リニアイメージャ方式により高い読取性能を実現。

自動認識システム販売のアイニックス株式会社（東京都目黒区大橋 1-6-2 電話 03-5728-7500 代表取締役 平本純也）は、台湾の自動認識機器メーカーである PC Worth International 社（No.100, Hisn-Tai Wu Rd., Sec1, Hisn-Chih, Taipei）の汎用リニアイメージャ F560 を 7 月より販売を開始します。

PC Worth 社は、IT 企業グループである Cino グループの中で、バーコード、磁気カード、IC カード、RFID 等の自動認識分野を担当する企業です。20 年以上の歴史を持ち、台湾の自動認識業界ではトップレベルの生産量です。アイニックスは、日本市場の正規代理店として平成 15 年に代理店契約を締結し、同社のバーコードリーダーを販売してきました。

汎用リニアイメージャ F560 は、2010 年から国際的に使用されている新流通標準シンボル GS1 データバーに対応しています。したがって、賞味期限やロット番号を表示した多段拡張型シンボル（Databar Expanded Stacked）でも、リーダーを上下に動かすことにより読み取りできます。従来、多段型のシンボルは、高価なレーザスキャナや二次元イメージャで読み取りしていましたが、今回、安価なリニアイメージャで読み取りできるようになりました。これにより、価格の厳しい POS 市場でも使用できるようになります。

汎用リニアイメージャ F560 は、汚れや傷のあるバーコードでも高い読取率を実現できるリニアイメージャ方式を採用しています。レーザスキャン方式や CCD スキャン方式のようにスキャンラインを直接的に信号処理する方式では、スキャンラインに傷や汚れがあった場合、読取率の低下をもたらします。しかし、リニアイメージャ方式は、バーコードをイメージ処理していますので、汚れや傷の影響を少なくすることができ、高い読取率を実現できます。

また、従来の CCD スキャナは、バーコードを覆うため小さいバーコードが読みづらいという問題がありましたが、F560 は、最大 38cm までの遠隔読取が可能ですので、楽に読み取りできます。また、従来の CCD スキャナは、スキャナ開口部により読取幅が制限されていましたが、F560 は、遠隔読取により約 20 センチの長いバーコードに対応できます。スキャン速度は、一般的なバーコードリーダーの 3 倍に相当する毎秒 300 スキャンと高速ですので、極めて早い読み取りが可能です。更に、シャープで高照度のエイミングラインは、視認性が良く、バーコードを素早く捉えて読み取ることができます。

F560 は、USB、RS232C、キーボードなど、ユニバーサルインターフェース機能を搭載していますので、ケーブル交換で様々なインターフェースに変更できます。また、ボディのセンタートップに

配置した LED 付の大きなトリガーボタンは、利き手に関係なく挿んで直ぐに読み取りし、青色 LED で読取確認できるエルゴノミックデザインとなっています。

汎用リニアイメージャ F560 は、オープン価格ですが、USB インターフェースの参考価格は、ホルダーとケーブル付きで 18,000 円（税別）です。また、1000 台以上の OEM 販売の場合は、1 万円以下が可能です。小売業、サービス業、医療、オフィスなどの汎用バーコードリーダ市場を中心に、直販、代理店販売、流通卸販売、OEM 販売により、初年度 5,000 台の販売を計画しています。



リニアイメージャ F560



ユニバーサルホルダー（標準添付）



多段拡張型データバーの表示例



二段データバーの表示例



GS1 データバーの例